

協力会社をピックアップ!

強力な人

信頼のパートナーここにあり!
[株式会社 コホク]

私たちの仕事が円滑に進むのは、
日ごろから共に頑張る協力会社の力添えがあってこそ!
共に働く「強力な人」を紹介します。



森鎌 慎大 マネジャー（架空線工事部 工事グループ）（左）
大賀 弥一郎様（株式会社 コホク 代表取締役）（右）

⚡ 30年以上にわたり無事故・無災害

株式会社コホク様は、社名の通り琵琶湖北部を中心とした鉄塔基礎全般の土木工事や送電線下の樹木の調査・伐採工事を担う会社です。創業は昭和27年で、大賀社長の祖父の代から電力関係の仕事に従事してきました。

鉄塔工事は多くが山間部。資機材を運ぶ経路や工事に必要な用地の確保が難しい場合もあり、現在工事中の若狭幹線改良工事でも登山口から約50分登った先が現場です。

伐採工事では周囲の草や小木を除去し、

十分なスペースを確保してから大木を切るというセオリーがありますが、送電線の高さや樹木との距離、斜面の位置や角度は現場によってさまざまで、常に危険と隣り合わせの作業となります。それにも関わらず、コホク様は30年以上にわたって無事故・無災害を継続。架空線工事部 工事グループの森鎌マネジャーは「同じ施工業者として驚くべきこと」と話します。

無事故・無災害が続けられる要因について大賀社長に尋ねると「うちは全員が作業責任者の意識で仕事をするから

ではないでしょうか」との答え。事故を起こさないためのマニュアルやルールは重要ですが、それ以上に仕事に対する意識＝責任感が大切だと言います。「もちろん人間なので時間がたてば心に隙が生まれます。しかし、当社には『最近、ちょっと気が抜けてるの違うか』と社員同士が指摘する風土がありますね」と大賀社長。互いのチェックが機能し、常に安全に対する高い意識を保つことで、無事故・無災害を実現しています。



⚡ 人と地元を大切にするイズム

社員が互いに何でも言い合える。その雰囲気は大賀社長は「大きな家族」と表現します。その背景には人や地域を大切にする「社の伝統」があります。

祖父の代から続く社員旅行の参加率は毎年ほぼ100%。社員同士や下請け会社の社員も含めて親睦を深める上で、なくてはならない恒例行事となっています。昨年は東京、一昨年は長崎に行きました。東日本大震災の年はさすがに自粛しようという話になり、旅行のためのお金を義援金と

して寄付。しかし、東北地方への風評被害を聞くと「こんな時期だからこそ行こう。行くことが応援になる」と福島県へ。旅行先のバスガイドや旅館の人たちは、震災後初のお客さまに心から喜んでくれたそうです。

今年のコロナ禍では、社員および同居する家族の人数×2万円を支給。キャンセル続きで困っていた地元の旅館には、コホク社員の夕食用として鶏すき焼き20人分を1週間注文しました。「特に先代、先々

代から申し渡しがあったわけではないですが、困ったことがあれば助けたいというのが当社の昔ながらの伝統です」と大賀社長。2年前に入社した20歳の社員も「地元で働くならコホク」ということで入社しました。人と地元を大切にする。そのイズムこそがコホク様の伝統です。



⚡ 信頼を積み重ねるコホクブランドの構築

再来年で70周年を迎えるコホク様。これまでを振り返り、大賀社長に思い出深い仕事を聞くと「平成27年の富山県魚津市での鉄塔基礎工事（深礎基礎）ですね」と話します。その仕事では一軒家を借りて、8人が寝食を共にしたそうで「あの仕事があって、一段と社内の結束力が高まったように思います」と大賀社長。仕事が終わっ

たときは魚津市の皆さんとも仲良くなり、賄いを担当してもらった人たちとも、去り際は涙の別れになったそうです。

今後の抱負については「かんでんエンジニアリング様をはじめとする、すべてのお客さまに信頼してもらえる仕事をする。そして、お客さまにさらに信頼してもらう。それを積み重ねてコホクブランドを構築し

ていきたい」と語ります。そんなコホク様の成長は当社にとっても大きな財産です。

70年はまだまだ通過点。働きがいのある職場、地元への貢献、お客さまとの信頼のすべてに力を入れるコホク様のこれからますます期待です。

今のコホクがあるのは プロとの出会いのおかげです！

30年間の無事故・無災害は社員の頑張りもありますが、共に現場で汗を流してくれる射庭林業（有）などの協力班の力も大きいです。彼らはまさにプロフェッショナルと呼べる人たちで、そういう仲間と出会えたことで、今のコホクがあるのだと思っています。

プロといえば、現在一緒に仕事をしている森鎌さんをはじめとする、かんでんエンジニアリングの皆さまもそうです。特に大阪南支店の副支店長をされている上山さんには、『朝来ると資料ができあがっている』というエピソードが印象に残っています。「その資料、いつ作りはったんですか」と。同様のことが度々あり、そういう姿を見て自分たちもそうありたいと思いました。

「信頼される仕事をする。そして信頼してもらう」。これからもその気持ちを大切に頑張っていきます。どうぞ、よろしくお願いいたします！



株式会社コホク
代表取締役 大賀 弥一郎様

すばらしい仕事ぶり。 これからも頼りにしています！

私が初めて一緒に仕事をしたのは平成27年の新北陸幹線建替工事です。コホク様には基礎工事を依頼したのですが、施工期間が短く、しかも現場は田んぼ…。今思い返してもかなり無理なお願いでした。何度も打ち合わせを重ね、何とか完遂。終了後に「もう、こんな工期やめてや!」と言われたことをよく覚えています。

コホク様では、良い仕事が次の仕事につながるという考えが社員一人ひとりに行き渡っています。また、社員が100%のパフォーマンスを出せるよう、働きやすい職場づくりに尽力されている大賀社長のマネジメントもすばらしく、そんな姿を見るたびに学習すべきことが多いと感じています。

若狭幹線改良工事では現在進めている鉄塔4基の後にも22基が控えています。まだまだ作業は続きますが、頼りにしています！



架空線工事部 工事グループ
森鎌 慎大 マネジャー

※かんでんエンジ・藤本電業JVの作業服を着用しています。